

# 外国人人材の活用

～採用・育成・定着への取り組み～



特別養護老人ホーム

やまぶき荘

施設長補佐

佐藤洋子

# 1. 施設の概要

---

昭和51年4月 旧大東町が町立特別養護老人ホームとして創設

平成14年4月 社会福祉法人室蓬会へ経営移譲

平成18年8月 施設老朽化に伴い移転工事開始

平成19年4月 移転工事完了

平成19年5月 新施設運営開始（オール電化採用）

定員70名 短期入所10名 合計80名

全室個室ユニット型施設 1ユニット10名

令和6年7月 太陽光発電システムPPA事業導入

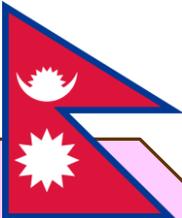
# 2. 外国人人材の採用への取り組み

## 外国人人材の採用について

ベトナム、フィリピン、インドネシア、ミャンマーなど様々な国が候補に挙がる中、当法人では 『多国籍文化であること、政治的しがらみが少なく家族を大切にする文化、そして穏やかで温厚な性格』 である点から、ネパールからの受け入れを決定した。



### ネパールについて



標高 = 60m～8,848m (エベレスト)  
1円あたり = 約1ネパールルピー  
平均給与 = 約25,000円 / 月  
主食 = 米 (食事は1日2回)  
食べられないもの = 牛肉

# 採用までのプロセス

(法人本部が中心となり以下の流れで進めた)

## 1. 職業紹介事業者へ連絡

就労希望者(特定技能1号)の選定を依頼

## 2. オンライン面接

理事長、常務、施設長がオンラインで  
面接を実施

## 3. 採用通知発送

面接者6名中3名を採用し、通知を発送

## 4. 入国

採用決定から約5ヶ月後の昨年7月29日に入国

## 5. 辞令・就労開始

昨年8月1日付で辞令を交付・就労開始



当施設職員の  
理解促進の為、  
ネパールの文化、  
習慣を知る研修を  
3回実施した

# 居住先

- ・住居については、法人職員の空き家を活用。法人職員のご家族が大家さんとなり、生活全般にわたるきめ細やかなサポートを行っている。
- ・ネパールの皆さんの日本語レベルは、日常生活での会話や簡単な文章を理解できる日本語検定のN3・N4レベルで、地域住民とも日本語で問題なく意思疎通を図ることができている。

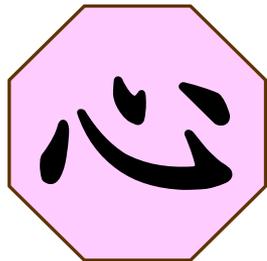


## 青木ハウス

6人入居できるシェアハウスに改築。  
家賃は個人で支払い、その他の電気代、水道代、食材料費などを共同で支払っている。  
1週間に3~4日手が空いている人がスーパーに買い出しに行き、自炊を行っている。  
職場のやまぶき荘までは1.2kmあり、各々自転車で通勤している。  
大家さんのご厚意で、月に2回外出や外食の支援を受けている。

# 3. 外国人人材の 育成への取り組み

## 施設長からのはじめの言葉



心構えとして常に前向きであること。  
時間やルールを守り、仕事に取り組む姿勢が  
何よりも大切。



入浴・排泄・食事介助を通してたくさんの経験を積み、  
一つ一つの経験を積み重ねることで、入居者様や  
他の職員の信頼関係を築いてほしい。



元気に働くためには体が資本。体調が優れない時は  
すぐに職員に知らせること。そして健康状態を維持  
するためには食事や睡眠も大切。

# 研修プログラム

期 間	内 容
始めの 1週間	午前10時～午後7時勤務 入居者の名前・食形態・生活の流れを学習
2～4週目	主任介護士と同じ勤務とし、マンツーマン指導で技術 マナー、言葉遣い、入居者様との関わり方などを習得
2ヶ月目～	ユニット職員が交代で指導 早番、遅番、夜勤などの業務を実施
3ヶ月目～	月6回の介護技術研修実施 緊急時対応研修を実施



2025/06/1





期 間	内 容
4ヶ月目～	独り立ち 夜勤は2ユニット(20名)に対し1名で対応

## 取り組みの成果

- ・研修の積み重ねによって出来る事が増えたことで自信が付き、笑顔も増え、積極的なコミュニケーションが可能になった。
- ・職員との距離も縮まり、ユニット内のチームワークが向上した。
- ・一人の職員として役割を果たす事で、ユニット内が円滑に機能するようになった。
- ・目標としていた4ヶ月目での独り立ちに成功。本人達から「大丈夫、難しくない」「介護は楽しい」という言葉を聞くことができた。



# 4. 地域とのつながりと 定着への取り組み

## 地域とのつながり

地区行事への参加を通じて地域との交流を促進

8月	だるま祭り
9月	地区敬老会(ネパールの歌と踊りを披露)
10月	地区文化祭
11月	神社清掃ボランティア
2月	水かけ祭り(接待)

## 定期的な外出・外出で気分転換

陸前高田市の一本松・世界遺産 平泉中尊寺の見学等

# 5. 今後の課題と展望

---

## 現在の課題

- ・実務者研修の受講に向けた勉強会の実施
- ・介護福祉士取得に向けた取り組み
- ・健康管理、通院の支援



## 今後の展望

- ・入居者様の思いを最大限引き出せるよう、常にコミュニケーションを図り、多職種と連携しながら入居者様と向き合ってほしい。
- ・介護の基本に立ち返り、入居者様一人ひとりへのサービスに質の差が生じないように、さらに質の高いケアを提供できることを期待する。

# カンチャンさんからの メッセージ



パンタカンチャン、22歳です。

わたしはネパールのから来ました。日本に来て1年たちました。

おとしりの人のお世話をすることが好きだから介護の仕事を選んできました。仕事の時おもしろいこともあるしおずかしいこともいろいろあります。しょくばのしょくいんさんはみんなやさしいです。ちかかたい時おしえてもらっています。りょうしんさんはおかしなことばをつかいます。ときどきちかかりますが、やっぱりおずかしいです。1年たっていろいろかへいけんをしました。これからはいろいろべんきょうしてがんばります。

地域の皆さん  
これからよろしくお願ひします



# 大原だるま祭り



初めての浴衣で  
ドキドキ・ワクワク



# 初めての海



# 敬老会でネパールの踊りを披露しました



# 狛鼻溪 郭公だんご



# 職員からお米の差し入れ



# 食事作り



初めての  
冬



3月  
新たに2名を  
迎え入れました

歓迎  
THAPA SARASWOTIさん SHARMA ANJIRAさん  
(タパ サラスウオティ) (サルマ アンジラ)  
ようこそ やまぶきそうへ  
青木ハウス



# 神社清掃ボランティア



# 大家さん御夫婦とおでかけ



みんなでチキンフィレオを食べました





私たちがこれからもがんばります





ご清聴ありがとうございました